

未来に向かう西北型水田農業推進事業

スマート農業を導入し、
稲作農家の「稼ぐ力」をアップ!



中泊町十三湖地区では、大型機械が効率的に作業できる水田の大区画化(約100メートル四方)や排水路の整備が進められています。農家の高齢化・担い手不足に対応し、一経営体当たり100ヘクタールを超える大規模経営体系の構築に取り組むため、20ヘクタールの水田で最新鋭のスマート農業機器を使った実演会や、経営データの収集を行いました。

農業の最先端技術に感動!

今年は、直進田植機、自動水管理装置、農業散布ドローン、食味・収量センサ付コンバインの実演会を3回実施。高精度で省力的な農作業をまのあたりにし、大勢の参加者からは感嘆の声があがっていました。



直進田植機
手放して運転する「パイオニズム」

少しでも多く稼ぐ力を養いたい

農林水産省「スマート農業実証プロジェクト」(事業主体:農研機構)の支援により実証を行い、GPSを使いほ場を平らにするGPSレベラー、ロボットトラクターなどの検討を進めます。最先端技術を導入することで水田農業を進化させ、稲作農家の稼ぐ力の向上を目指します。



自動水管理装置
スマホで水を水はかりしりめりの「パイオニズム」

【問い合わせ先】西北地域県民局地域農林水産部 ☎0173-35-2345



「いつまでも住み続けたい」東青地域づくり担い手確保支援事業

この地に住み続ける一人ひとりの
「すき。」を動画で配信中!



東青エリアには、「訪れてみたい」「住んでみたい」魅力がたくさんあります。そんな「すき。」になる魅力をUIターンなどで移住した方々や、地元の若手農業者・漁業者の方々と「一人ひとり」の「過去・現在・未来」にスポットを当てながら動画で紹介。昨年11月からウェブサイトやYouTubeチャンネルで配信しています。

心動かされると評判の動画!

この動画は、首都圏で開催する「移住相談会」や東青地域出身者の交流会など県外でのPR活動にも活用しています。昨年11月に開催した「ラブ・いまべつ会東京交流会」では、動画を見た参加者から「移住者の方が今別の魅力をよく知っている」、「県外の人もきっと、移住体験をしたくなる」という意見や感想をいただきました。



第2弾も配信予定、乞うご期待!

県外から移住し、浅虫水族館でイルカのトレーナーをしている方や、人気洋菓子店、ベーグル店を夫妻で経営している方々を紹介する動画を2月中に配信予定です。



【問い合わせ先】東青地域県民局地域連携部 ☎017-734-9412

動画配信公式サイト YouTubeチャンネル

地域の魅力を活かした
県内6地域それぞれの挑戦

地域県民局と地域が連携し、自分たちが暮らす地域に誇りを持ちながら常に新たな魅力を発掘・発信しています。気候や風土、食文化など、全く違った6つの特色をもつ集合体だからこそ、青森県は面白い!

下北地域関係人口構築事業

下北地域と継続的に関わる
地域外の人々を増やしたい!



県内でも特に人口減少率が高い下北地域では、移住・定住の推進が大きな課題。そこでまずは「関係人口」を増やすことが効果的だと考えます。「関係人口」とは、地域外に住みながら、さまざまな形で地域内に暮らす人々と継続的な関わりを持つ人々のことです。地域を支える新たな担い手となったり、将来的に移住・定住へつなげる可能性もあるため、受入体制の整備を進めています。



「関係人口」への関心を高める

まずは、県外から講師を招き「関係人口」に関する基礎知識や先進事例などを学ぶセミナーを開催。市町村担当者や地域住民にとって、「関係人口」と共に行う地域づくりを考えるきっかけとなりました。

「関係人口」とつながり、移住・定住へ

「関係人口」が長く気負わず訪れることができる地域づくりに向けて、地域外からの希望者を受け入れる体験プログラムを実施する予定です。一人でも多くの「関係人口」を増やし、移住・定住へと進んでいくよう、市町村と連携しながら取り組み、下北地域の活性化を目指します。



【問い合わせ先】下北地域県民局地域連携部 ☎0175-22-1195

中津軽「うるしの森づくり」推進事業

「津軽塗」を支える国産漆の
安定供給をめざして!



県を代表する伝統工芸品の津軽塗や国宝・重要文化財建造物の修理などに必要とされる国産漆の需要が高まっていることから、漆資源の確保が課題となっています。そこで、県や弘前市、津軽塗の関係団体が、漆資源に関する情報を共有するための連絡会議を設置。ウルシの苗木づくりや、森林所有者向けにウルシへの理解を促す津軽漆体験ツアーを開催するなど、漆を安定供給できるよう「うるしの森づくり」に取り組んでいます。

今春からウルシの植栽

2年間の苗木づくりを経て、今春から地域の方々の協力を得ながら植えていく予定です。また、津軽漆体験ツアーでは、「ウルシを植えたい」、「津軽塗の素晴らしさを知った」などたくさんの応援の声をいただきました。



漆の採取は15年後

漆の採取は苗木を植えてから、15年程の年月を要します。今後はさらにウルシの適正な保護管理方法や漆掻きに必要な技術習得支援など、持続的に漆生産を支えることで漆産業を活気づけ、地域経済の活性化につなげたいと考えています。



【問い合わせ先】中津軽地域県民局地域農林水産部 ☎0172-33-3857

歴史を紡ぐ三八地域広域観光事業

歴史・文化遺産とそれらにまつわる食を
融合したオリジナル観光コンテンツを開発!



三八地域には、中世南部氏にゆかりのある歴史・文化遺産が数多く存在しており、各地でそれらを観光に活用する機運が高まってきています。ますます増える歴史観光の需要に応えるため、三八地域の歴史・文化遺産と、それらにまつわる食などを融合した歴史観光コンテンツを開発します。また、広域観光の視点から、関係団体の取組の連携や受入環境の整備を行いながら情報発信に取り組めます。

【問い合わせ先】三八地域県民局地域連携部 ☎0178-27-3936

関係者が集い、意見交換を実施



歴史観光コンテンツの開発に向けたワークショップでは、三八地域で活躍しているボランティアガイドや市町村、観光関係団体の方々からさまざまなアイデアが出され、活発に意見が交わされました。

欧米豪からの誘客がさらなるミッション

三八地域の歴史観光コンテンツと、三八地域と深い関わりのある岩手県北の歴史観光コンテンツを組み合わせた広域モデルルートを作成や、歴史・文化遺産への関心が高い欧米豪からの誘客に取り組んでいます。



十和田湖奥入瀬エリアを核とする上北インパウンド観光客受入体制整備事業

外国語ガイドを育成し、地域の魅力を
より深く、外国人観光客に伝えたい!



上北地域は、十和田湖・奥入瀬に代表されるように自然豊かな地域です。最近では、台湾など外国からのお客も増え、豊かな自然を満喫するようになってきました。ところが、地域には外国語を話せるガイドが少なく、外国のお客様に地域の魅力を十分に伝えることが出来ていません。そこで、地域で外国語を話せる人財を対象にガイドスキルを身につけるための「外国語ガイド養成講座」を開催し、外国語ガイドの育成に努めています。

研修によって、外国語ガイドが誕生!

今年度は、奥入瀬渓流で研修を行いました。英語を中心に13名の方が講座を修了して外国語ガイドになるための基礎を学びました。講座修了者の一部は、冬の現地ツアーで外国語ガイドを務めるなど活躍が期待されています。



英語、中国語など新たな受講者を募集

今後は地域の関係団体などと協力しながら、今年度講座修了者のガイドスキルの向上を支援すると共に、需要の高い中国語を中心に新たな受講者を募り、地域の外国語ガイドの充実化を目指す予定です。

【問い合わせ先】上北地域県民局地域連携部 ☎0176-22-8194

